

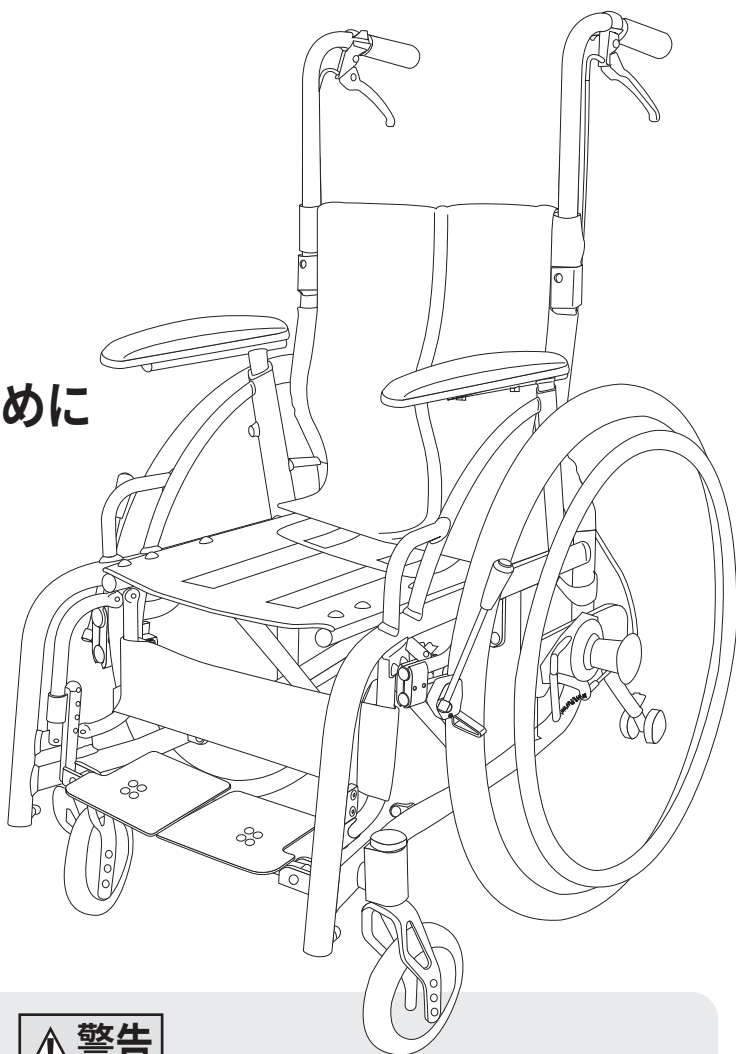
私のパートナー
マイ・ベスト・フレンド

k Pacific Supply



取扱説明書

安全にお使いいただくために



⚠ 警告

- ※ ご使用前に、本書を最後までよくお読みください。
- ※ 保護者の方が、本書をよくお読みになり、万全なご指導をおねがいします。
- ※ 日頃の点検を怠ると、思わぬ事故や車いすの破損の恐れがあります。
- ※ お読みになられた後も、大切に保管し、必要に応じてくりかえし、お読みください。

本製品に関するお問合せは、裏表紙（P 40）をご参照ください。
Ⓜマークは川村義肢株式会社の登録商標です。

不許複製

もくじ

1	安全にご使用いただくために	3
1-1	自走用車いす「テゾーロ」とは……	3
1-2	絵表示について ……………	3
1-3	警告に関する事項……………	4～5
1-4	注意に関する事項……………	6～7
2	構成部品と各部名称	8～9
3	機能と特徴	10
4	車いすに乗る前の点検について	11
5	組立て方法	12～13
6	おりたたみ方法	14
7	調整方法と操作方法	
7-1	フットレストの高さ調整方法……	15
7-1-1	ハイマウントタイプ	
7-1-2	ローマウントタイプ	
7-2	フットプレートの前・後位置調整…	16
7-3	バックレストの調整方法……………	17
7-4	車輪の前・後調整方法……………	18
7-5	転倒防止の使用・調整方法……………	19
7-6	アームレストの調整方法……………	20
7-6-1	アームレスト高の調整方法	
7-6-2	アームレストの前・後調整方法	
7-7	ブレーキの調整方法……………	21
8	オプション品の取り付け方法	22
8-1	子供用グリップ……………	23
8-2	高さ調整グリップ……………	24～25
8-3	追加着せ替えシート……………	26
8-4	体幹パッド……………	27
8-5	テゾリュック……………	28
8-6	杖入れ……………	29
8-7	テーブル……………	30～31
9	安全な使い方	32
9-1	駐車ブレーキの使い方……………	32
9-2	介助用ブレーキの使い方……………	32
9-3	段差での走行方法……………	33
9-4	坂道での押し方……………	34
9-5	傾いた道での押し方……………	34
9-6	溝越え……………	35
10	日常のお手入れと点検方法	36
11	保管方法	37
12	廃棄方法	37
13	仕様諸元	37

1 安全にご使用いただくために

本製品の機能を十分に生かし、かつ安全にご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよく読み内容を理解してください。その後、大切に保管し、必要に応じてくりかえしお読みください。

1-1 自走用車いす「テゾーロ」とは

イタリア語で「IL MIO TESORO」（イル ミオ テゾーロ）は“私の宝物”という意味です。そのなかの「TESORO」（宝物）という言葉が語源に、この車いすが皆様にとって宝物でありますようにと願いを込めて「TEZORO（テゾーロ）」とネーミングしました。

テゾーロは、川村義肢（株）の下肢装具に関するノウハウをもとに、主に脳性麻痺や二分脊椎症などの下肢装具装着児で車いすへの乗り降りを自分で出来るもしくは練習中・練習予定の方に工夫された車いすです。

レグレストフレームを外へ広げる（フロントオフセット）ことで、フットスペースを確保し、装具をはいている方が乗り降り操作をし易くなると共に、シンプルな調整機能により、ひとりひとりのお子様の身体や能力に合わせることが可能です。オプションも豊富で、機能だけでなくデザインや周りのみんなが使いやすい車いすを目指しました。

⇒かわいくて、活発に、みんなが使いやすい、そんな車いすです！！

1-2 絵表示について

この取扱説明書では色々な絵表示をしています。これは本製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々に加える恐れのある危害や損害を未然に防ぐための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解の上、本文をお読みください。



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると使用中に不具合を生じ、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると使用中に不具合を生じ、傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると使用中に不具合を生じ、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

日常の保守点検は1日1回使用前に搭乗者もしくは介助者が必ず行って下さい。また、保守点検を行っていない車いすは使用しないでください。保守点検の方法は「10 日常のお手入れと点検方法」をご参照ください。

階段等を上り下りする際は本体フレーム以外は持たないで下さい。持ち上げた際に車いすが破損して階段等から落ち、死亡または重傷を負う恐れがあります。

緊急の時以外は搭乗者が前のめりになるような急ブレーキはかけないで下さい。搭乗者が車いすから落ちて死亡または重傷を負う恐れがあります。

移動している時以外は必ず駐車ブレーキをかけて下さい。意図せぬ時に動き出して事故等を起こし、死亡または重傷を負う恐れがあります。

本製品を使用中はブレーキが確実にきいていることをたえず確認しながら使用して下さい。ブレーキがきかない場合、介助者が車いすを制御できず死亡または重傷を負う恐れがあります。

走行中、身体を乗り出す等して、走行の安定性を損なうことのないようにして下さい。車いすごと転倒し死亡または重傷を負う恐れがあります。

背折れ金具より上側を持って運ばないで下さい。持ち上げた際に車いすが破損して階段から落下し、死亡または重傷を負う恐れがあります。

グリップ等に荷物をぶら下げて下さい。後方に転倒し、死亡または重傷を負う恐れがあります。



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると使用中に不具合を生じ、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

階段等を上り下りする際は4名以上の方で車いすを持って下さい。階段等から落ち、死亡または重傷を負う恐れがあります。

搭乗者、介助者は本製品を修理改造しないで下さい。破損等が生じた場合は必ず取扱店へ修理交換をご相談ください。

フットレストやシートの上に立たないで下さい。車いすごと転倒し死亡または重傷を負う恐れがあります。

傾斜地での走行または駐車は十分注意して下さい。車いすごと転倒し死亡または重傷を負う恐れがあります。

踏台や脚立のかわりに使用しないで下さい。車いすごと転倒し人が死亡または重傷を負う恐れがあります。

搭乗者と介助者は、本製品の使用方法や取扱注意事項等が理解できるまで本製品をご使用にならないで下さい。

本製品は歩行器ではありません。歩行器がわりに使用しないで下さい。

本書の安全に関する指示事項には必ず従ってください。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると使用中に不具合を生じ、
傷害を負ったり物的損害の発生が予想される内容を示します。

段差を乗り越える際、グリップを真上から押す動作とティップングレバーをふむ動作は必ず同時に行ってください。どちらか一方のみの動作の場合、キャストが持ち上がらなかったり、本製品が破損する恐れがあります。

直射日光のあたる場所や炎天下の車内に長時間放置したり、熱器具（ストーブ等）の近くで使用しないで下さい。熱により変色や変形する恐れがあります。変形した本製品は使用しないで下さい。

車いす走行中は、スポークで指や手をつめないようにして下さい。

市販されているクッション類や座ぶとんを使用する場合は、販売店に相談して下さい。着座中の姿勢が悪くなる恐れがあります。

本製品の搭乗者最大体重は50kg以下(手荷物等の積載物を含む)です。50kgを超える場合は本製品が変形する恐れがあります。変形した本製品は使用しないで下さい。

フットレストや足を段差につけないようにして下さい。けがをしたりフットレストが破損する恐れがあります。

走行中、足がフットレストから落ちないようにして下さい。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると使用中に不具合を生じ、
傷害を負ったり物的損害の発生が予想される内容を示します。

製品の不断の改良により、詳細において本書の内容と異なる場合があります。不明な事柄については販売店まで問い合わせして下さい。

本書の内容に関しましては万全を期していますが、万一不審な点や誤り、乱丁、落丁記載漏れなどに気付いた場合は販売店までご連絡下さい。

本製品を組み立てる際は、シートパイプで指をつめないようにして下さい。

本書は製品とともに常に手元に保管し、必要に応じてくりかえしお読みください

本書に規定した方法以外での使い方に対しては、安全性は保証できません。

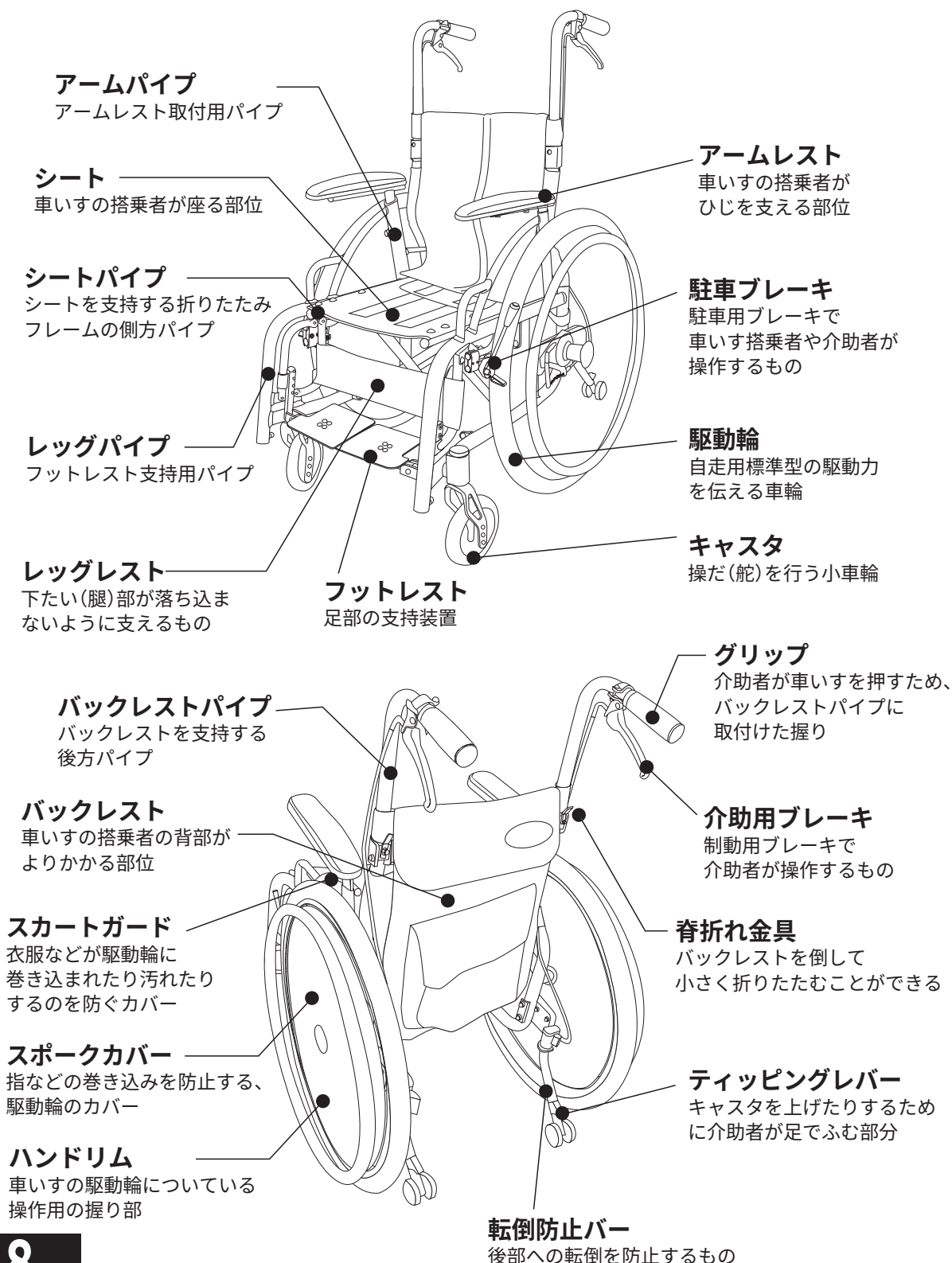
本書を紛失または損傷した場合は速やかに販売店までご連絡下さい。

本書中の図は一部を省略したり抽象化した表現になっているものがあります。

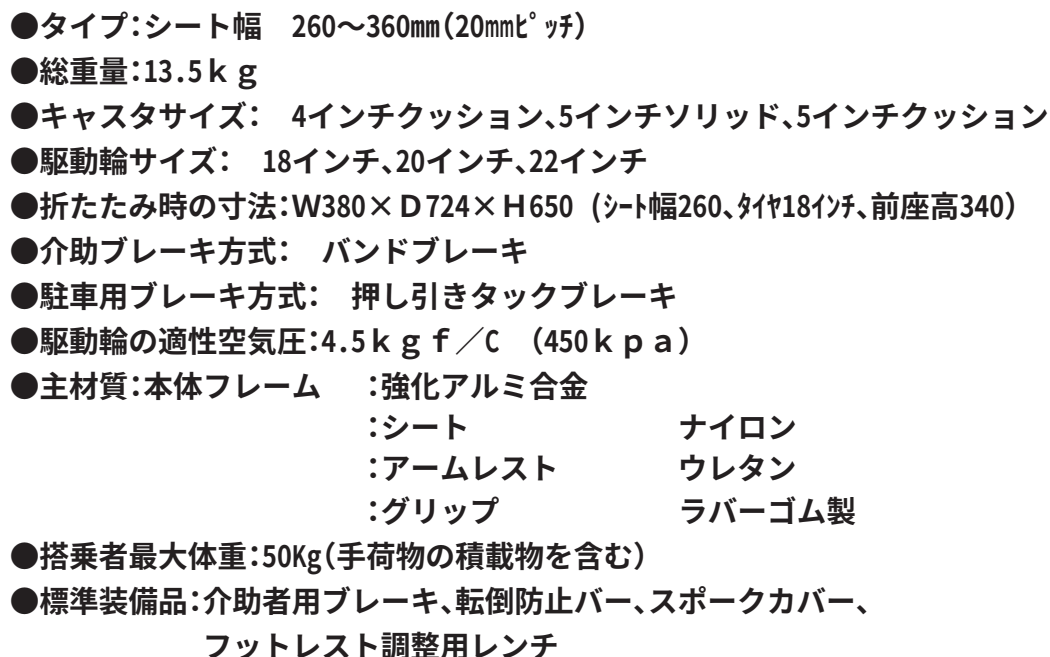
本書の全部または一部を無断で転載複製することを禁止します。

本製品は改良のため予告なしに変更する場合があります。

本製品は下記の部品で構成されています。不足部品がないか点検して下さい。



※サイズはmm表示です。



3 機能と特徴

本製品には以下の特徴があります。

1. フロントオフセット

左右のレッグパイプをそれぞれ40mmずつ外側に広げている為、
装具をご利用の方も乗り降りカンタン！

2. フットレストの高さ・前後調整

体の成長に合わせて調整可能！

足の長さにあわせて、引き込み型と普通型の2種類 …………… 調整方法(P.15)参照

3. バックレストパイプ曲

ランバーサポートで、姿勢を正しくします。

張り調整ができ、シーティング機能がついています…… 調整方法(P.17)参照

4. 収納式転倒防止バー付き

後部への転倒を防止する、収納式転倒防止バーがついています。………… 収納方法(P.19)参照

5. スポークカバー

指や衣服の巻き込みを防止するスポークカバーがつきます。

6. 車軸調整

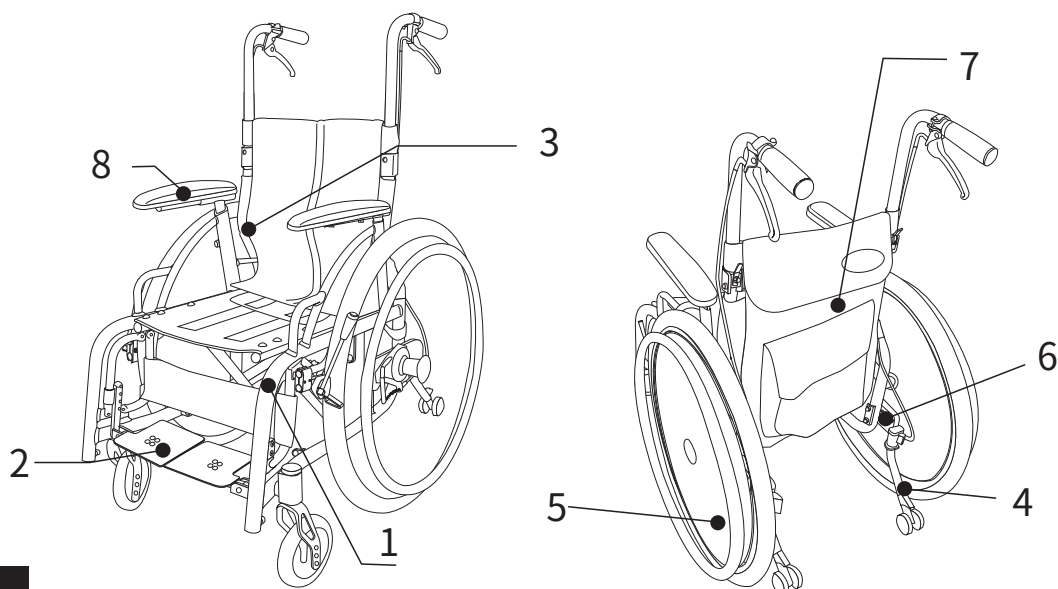
車軸位置を前後3段階に調整でき、自走能力にあわせて選択できます。………… 調整方法(P.18)参照

7. 着せ替えシート

TPOに合わせてシートを変えよう！………… 調整方法(P.26)参照

8. アームレストの高さ・前後調整

使用者に合わせて高さ・前後位置を調整できます。………… 調整方法(P.20)参照



本製品をご購入いただいた場合は、ご使用前にまず下記のチェックを行って下さい。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると使用中に不具合を生じ、傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示します。

[ご使用前に必ず次の点検を行って下さい。]

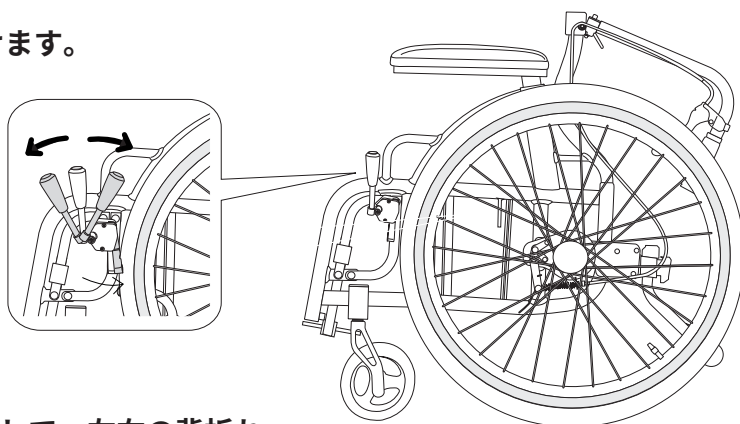
	チェック項目	／	／	／	／	／	／	／
(1)	介助用ブレーキと駐車ブレーキはきくか							
(2)	各ベルト類はゆるみやガタツキがなく取付けられているか							
(3)	各ベルト類に損傷や裂け等はないか							
(4)	縫製部分のほつれはないか							
(5)	マジックテープの接着不良はないか							
(6)	各部にひび割れや欠け、変形等はないか							
(7)	各部のネジにゆるみやガタツキはないか							
(8)	カシメ部分にゆるみやガタツキはないか							
(9)	駆動輪がパンクしていないか							
(10)	その他の異常はないか							

万一破損や異常を発生した場合はそのまま使用せず、必ず販売店にご連絡下さい。異常状態のまま、絶対に使用しないで下さい。

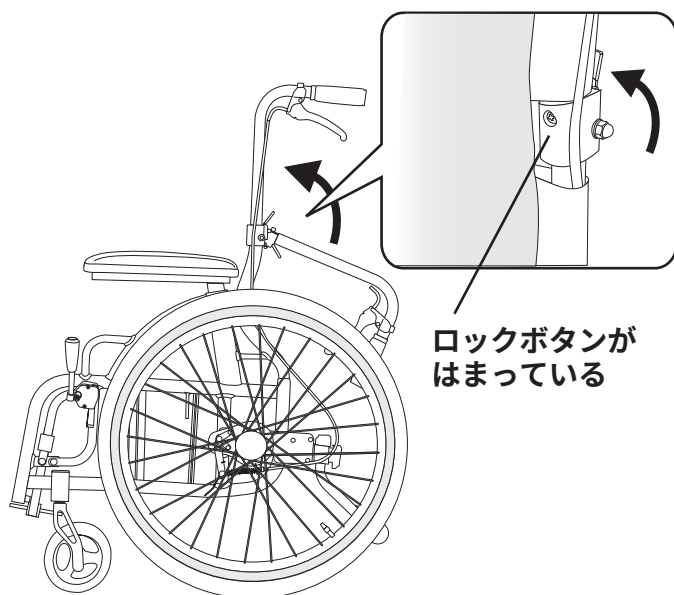
※本ページを複写いただき、日常点検にご利用ください。

5 組立て方法

①左右の駐車ブレーキをかけます。



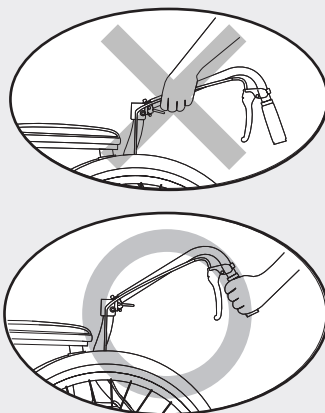
②バックレストパイプを起こして、左右の背折れ金具のロックボタンを、図の様にします。



ロックボタンが
はまっている

! 注意

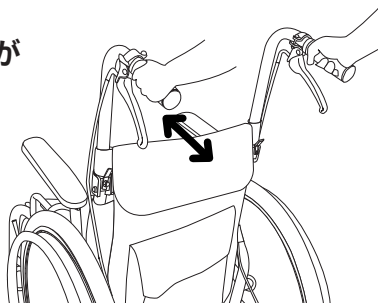
バックレストパイプを起す際は、グリップを持って操作して下さい。グリップ以外の部分（特に背折れ金具付近）を持って操作すると、指をつめる恐れがあります。



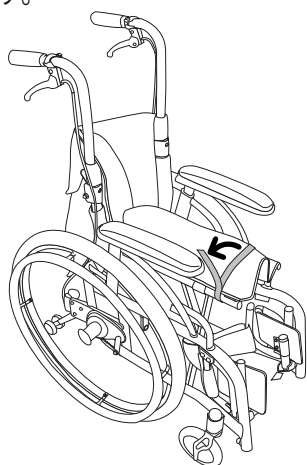
③グリップを2～3回軽く引っ張ってバックレストパイプが固定できているか確認します。

! 注意

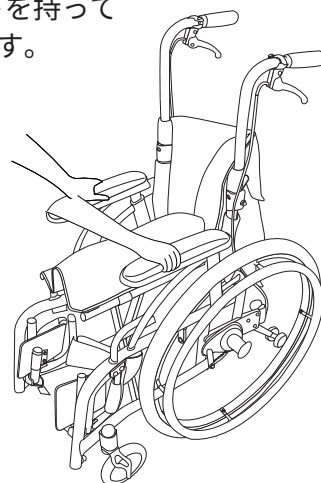
バックレストパイプの固定は絶対に確認して下さい。バックレストパイプが固定できていない場合、意図せぬ時にバックレストが折りたたまれ、搭乗者が本製品から転倒する恐れがあります。



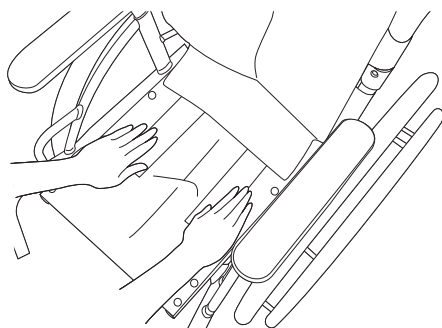
- ④ シート前面の折たたみ固定ベルトを
図の用に外します。



- ⑤ アームレストを持って
左右に広げます。

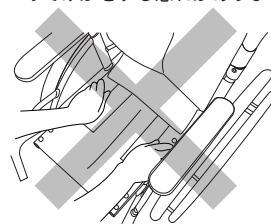


- ⑥ 図のような位置に手の平を置き、指づめに注意しながら左右のシートパイプを下側に押して、
フレームが折りたたみ状態に戻ってこないようにします。
(レッグパイプの上にしっかりとシートパイプが乗っている事を確認して下さい)



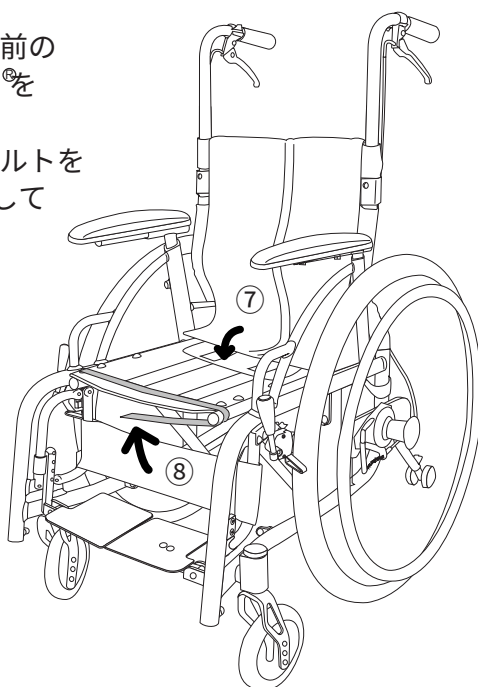
注意

下図のような方法で使用しないで下さい。
指をつめてけがをする恐れがあります。

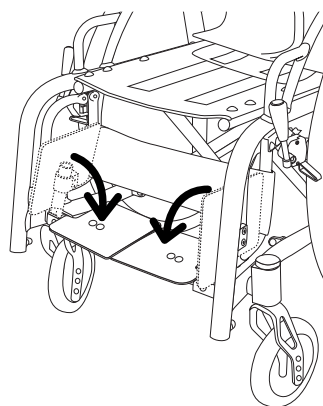


- ⑦ バックレストの前の
マジックテープ[®]を
取り付けます。

- ⑧ 折たたみ固定ベルトを
図の用にセットして
下さい。



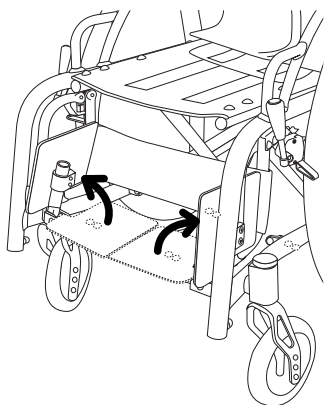
- ⑨ フットプレートを開き、
組立ては終了です。



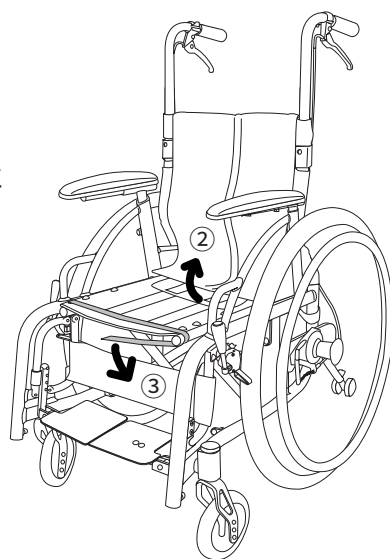
6

おりたたみ方法

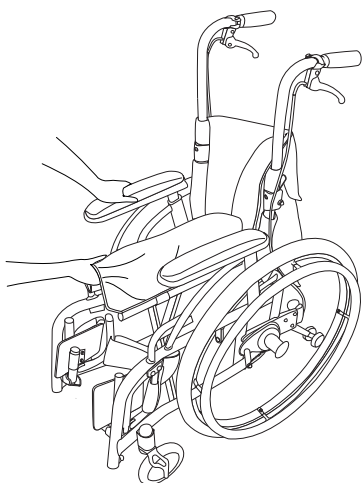
- ① 左右のフットレストを上にはね上げます



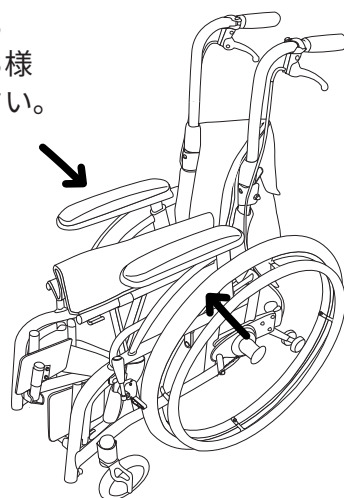
- ② シート後縁のマジックテープ®を外します。
③ シート前下の折たたみ固定ベルトを、図の様に外して下さい。



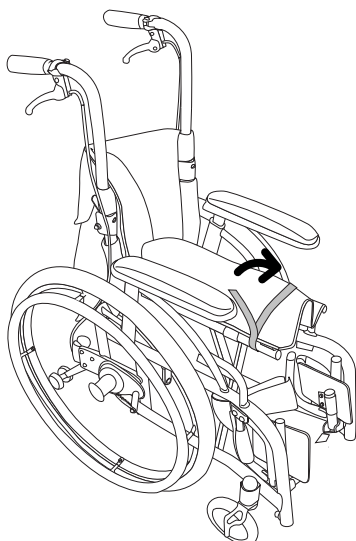
- ④ 座面の中央付近を持ちあげます。



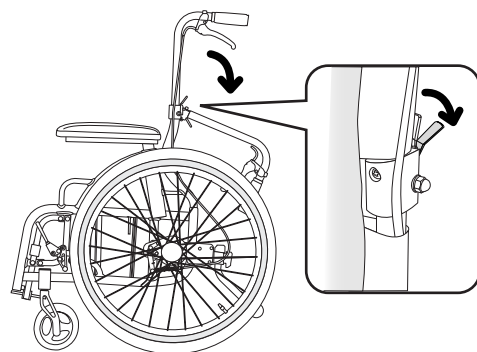
- ⑤ アームレストを持ち左右から押し込める様に折りたたんで下さい。



- ⑥ 折たたみ固定ベルトを図の様に巻きつけて、開きを防止して下さい。

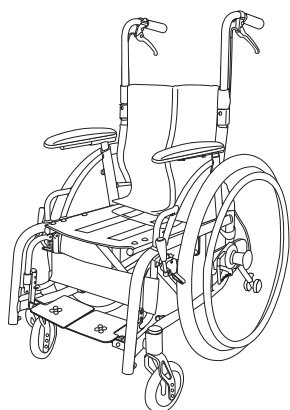


- ⑦ 左右の背折れ金具レバーを後に倒しバックレストパイプを後に倒します。

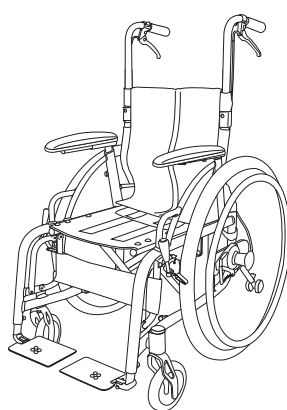


7 調整方法と操作方法

7-1. フットレストの高さ調整方法



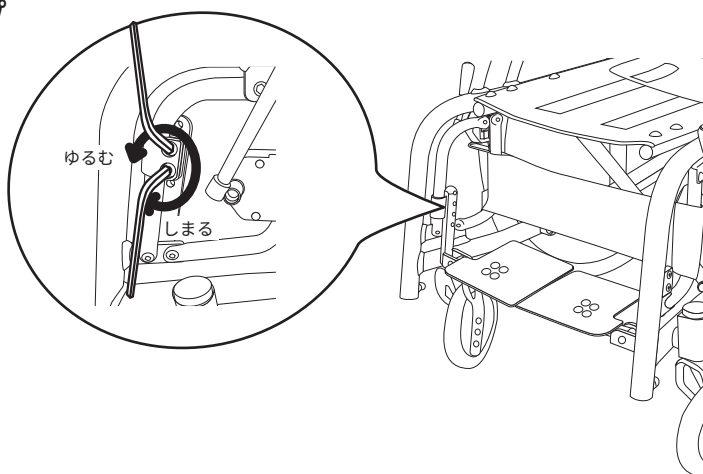
ハイマウントタイプ



ローマウントタイプ

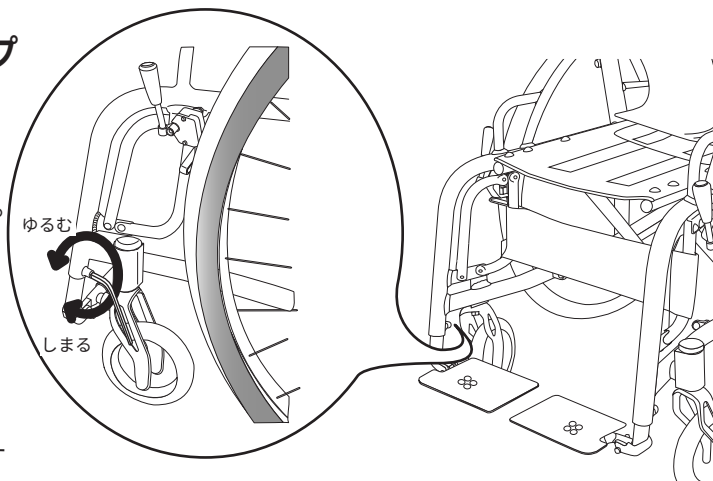
7-1-1. ハイマウントタイプ (引き込みタイプ)

- (1) 図の様に付属のレンチでフットプレートを取り付けているボルト2つを外します。
(左右で合計4個)
- (2) 搭乗者の身体の寸法に合わせ取付け位置を設定し、付属の六角レンチにてしっかりと固定します。
高さは、任意に調整できます



7-1-2. ローマウントタイプ (前方取付タイプ)

- (1) 図の様に付属のレンチでフットプレートを取り付けているボルト1つを外します。
(左右で合計2個)
- (2) 搭乗者の身体の寸法に合わせ取付け位置を設定し、付属の六角レンチにてしっかりと固定します。
高さは、5段階に調整できます



7-2. フットプレートの前後位置調整(図はハイマウント、ローマウントも同様。)

※適切な位置については車いすの専門家にご相談下さい。

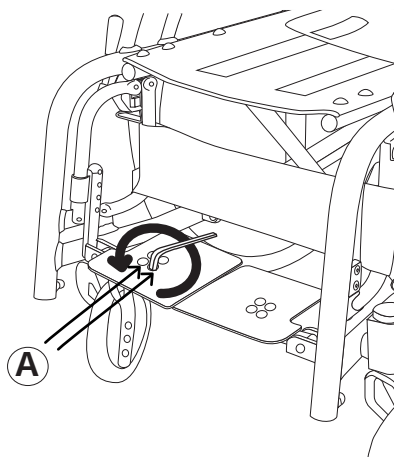


注意

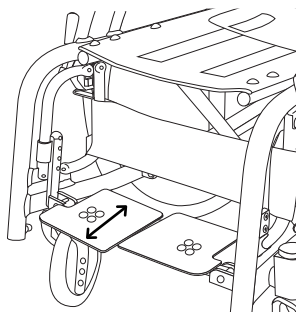
フットプレートの固定は絶対に確認して下さい。フットプレートが固定できていない場合、意図せぬ時にフットプレートが回転し、搭乗者が本製品から転倒する恐れがあります。

フットプレートと地面の隙間は50mm以上あげてください。十分な隙間がない場合、地面の障害物にフットプレートが引っかかり、搭乗者が本製品から転倒する恐れがあります。

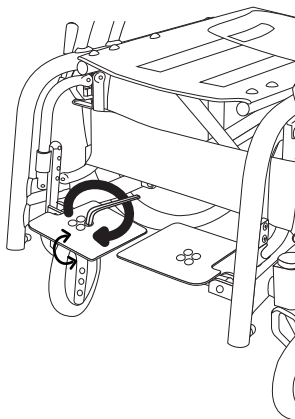
- (1) ①のねじを2個外します。



- (2) 穴の位置を変更し、ねじを取り付けます。
ここでは、完全に締め付けしないでください。



- (3) 角度を合わせ、ねじを締めてください。

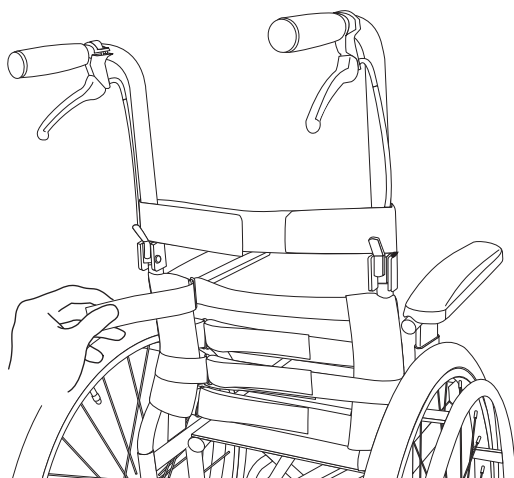


- (4) 同様に、反対側も調整してください。

7-3. バックレストの調整方法

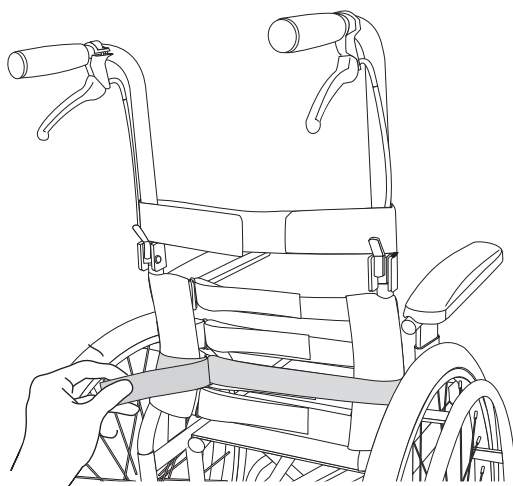
- (1) バックレストシート内部のマジックテープ®を調整することにより、腰(骨盤)の傾きを適切な位置に調整します。

※適切な位置については、車いすの専門家にご相談下さい。



- (2) 腰部調整ベルトを上下に調整することにより、骨盤を起こす適切な位置に調整します。

※適切な位置については、車いすの専門家にご相談下さい。



7-4. 車輪の前後調整方法

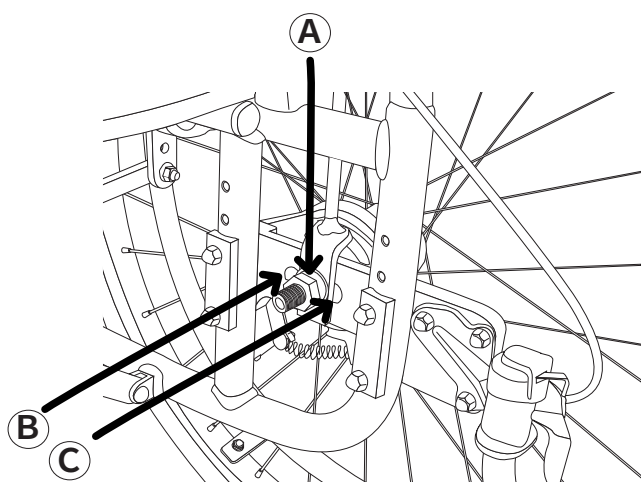
車輪の前後を調整することにより、こぎやすさを重視したり安定を重視したりできます。

※適切な位置については、車いすの専門家にご相談下さい。

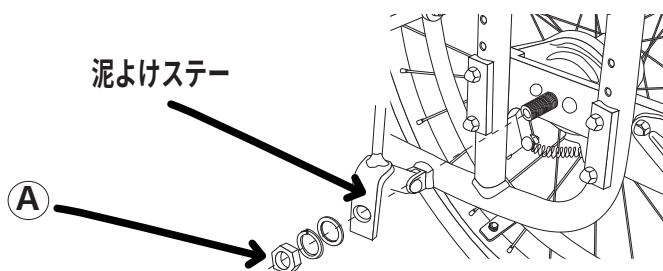


注意

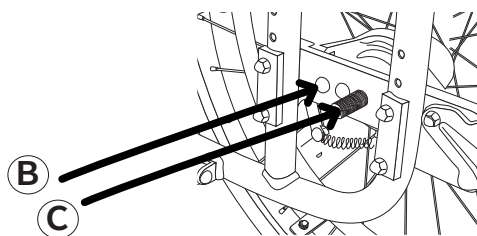
車輪の固定は絶対に確認して下さい。車輪が固定できていない場合、意図せぬ時に車輪が外れ、搭乗者が本製品から転倒する恐れがあります。



- (1) ①Aのナットを外し、車輪を外します。
泥よけ取り付けの場合、泥よけステーも外します。



- (2) 車軸を ②Bや ③Cの穴に差し替えます。



- (3) (1)の逆の手順でナットを締めます。

7-6. アームレストの調整方法

7-6-1. アームレスト高の調整方法

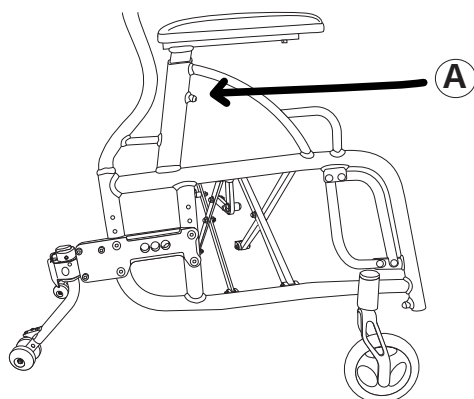
※適切な位置については、車いすの専門家にご相談下さい。



注意

アームレストの固定は絶対に確認して下さい。アームレストが固定できていない場合、意図せぬ時にアームレストが外れ、搭乗者が本製品から転倒・怪我をする恐れがあります。

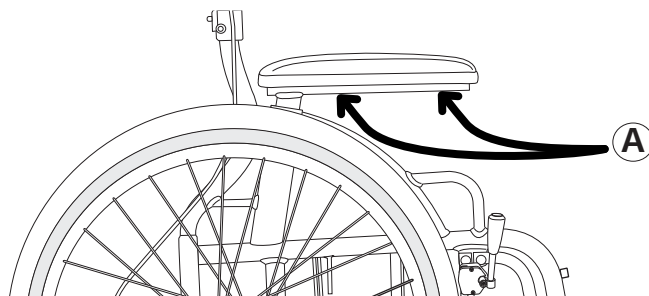
- (1) 『P 18 7-4、車輪の前後調整方法』を参照し、タイヤを外します。
- (2) ①のねじを付属のレンチで外します。
- (3) アームレストの高さを変更し、(2)で外したねじを取り付けます



7-6-2. アームレストの前後調整方法(3段階調整)

※適切な位置については、車いすの専門家にご相談下さい。

- (1) ①のねじを外します。
- (2) 前後位置を合わせ、①のねじを取り付け、固定します。



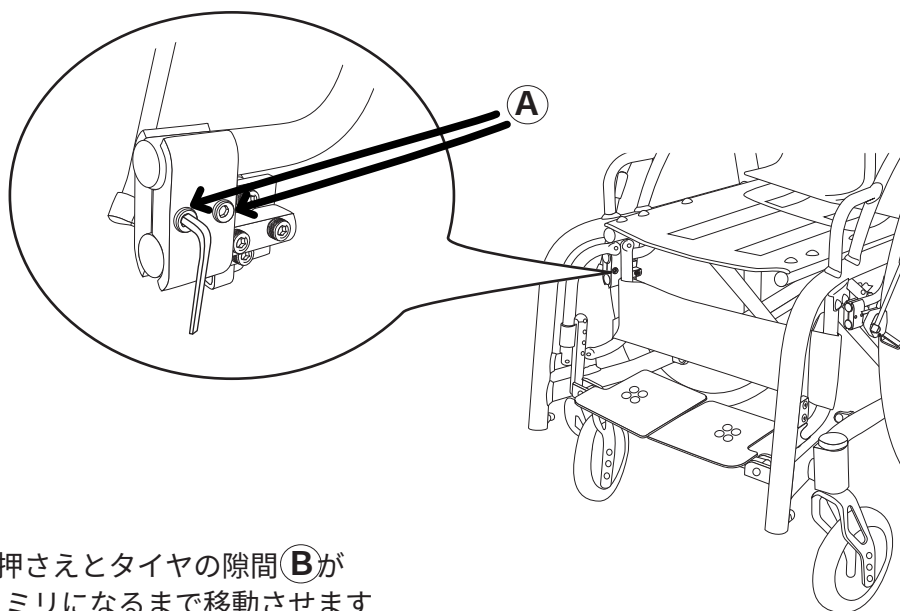
7-7. ブレーキの調整方法



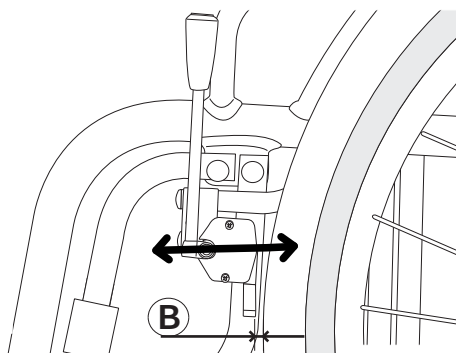
注意

ブレーキの固定は絶対に確認して下さい。ブレーキが固定できていない場合、ブレーキがかからず、搭乗者が本製品から転倒する恐れがあります。

- (1) ①のネジを緩めます。
ネジは取り外す必要はありません。



- (2) タイヤ押さえとタイヤの隙間②が
4～5 ミリになるまで移動させます



- (3) (1)の逆の手順で①のネジを締め、ブレーキを固定します。
左右2つのネジを均一に締めてください。
- (4) 同様に、反対側のブレーキも調整します。

8 オプション品の取り付け方法

本製品には以下のオプションがあります。

1. **子供用グリップ** 調整方法(P.23)参照
子供だって押せる高さ設定グリップ
高さは、タイヤ18"⇒670mm、20"⇒690mm、22"⇒710mm
2. **高さ調整グリップ** 調整方法(P.24)参照
高さが変更できる介助者用グリップです
3. **追加着せ替えシート** 調整方法(P.26)参照
追加 着せ替えシートです
4. **体幹パッド** 調整方法(P.27)参照
体幹を支えるパッドです。
5. **テゾリュック** 調整方法(P.28)参照
いろんなものが入られるリュックです。
6. **杖入れ** 調整方法(P.29)参照
杖を背パイプ後ろに入れることができます。
7. **テーブル** 調整方法(P.30)参照
軽くて、携帯に便利なテーブルです。

8-1. 子供用グリップ

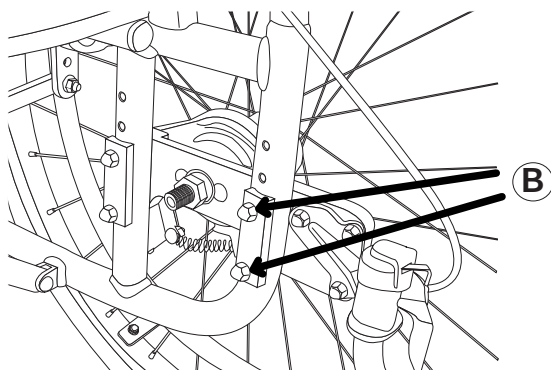
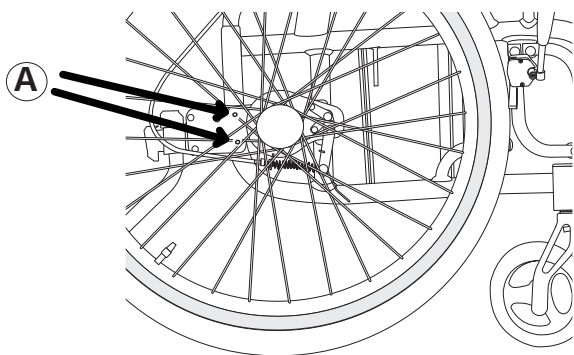
子供だって押せる高さ設定グリップ
高さは、後座高+30 cm



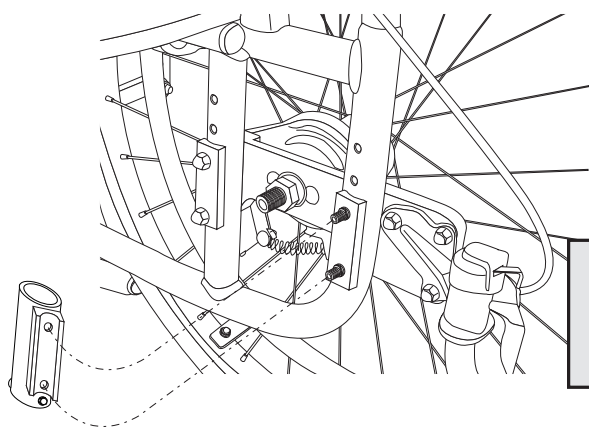
注意

段差乗り越えの操作は、子供用グリップを使用しないで下さい。着脱機構の為、意図せぬ時に子供用グリップが外れ、搭乗者が本製品から転倒・怪我をする恐れがあります。

- (1) ①のネジをまわし、②のナットのみ外します。
ワッシャ、スプリングワッシャは外しません。



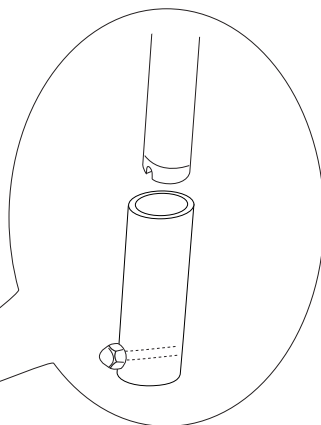
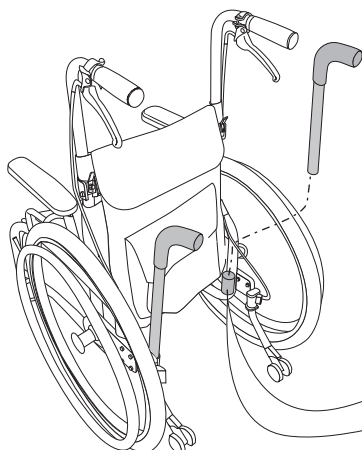
- (2) 外したナットの代わりに、子供用グリップの受けを取り付けます。



注意

子供用グリップ受けの固定は絶対に確認して下さい。グリップ受けが固定できていない場合、意図せぬ時にグリップが外れ、怪我をする恐れがあります。

- (3) 受けに子供用グリップを差し込みます。
受けの回り止めピンと、子供用グリップの溝を合わせて差し込んでください。



8-2. 高さ調整グリップ

高さが変更できる介助者用グリップです

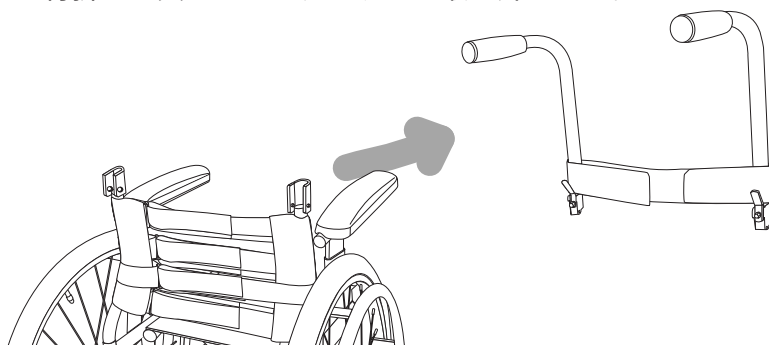
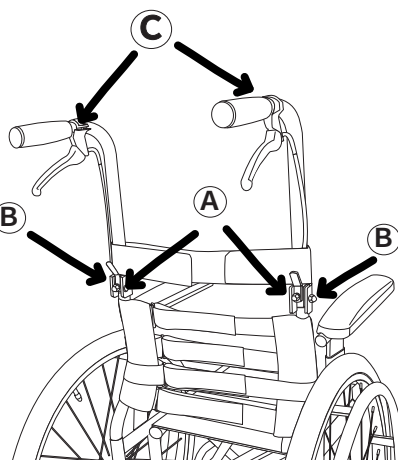


注意

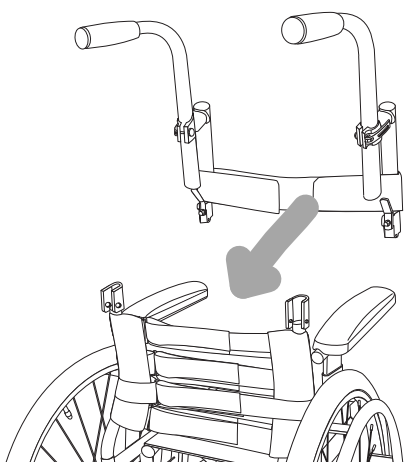
グリップの固定は絶対に確認して下さい。グリップが固定できていない場合、意図せぬ時にグリップが外れ、搭乗者が本製品からの転倒する恐れがあります。

取り付け方法

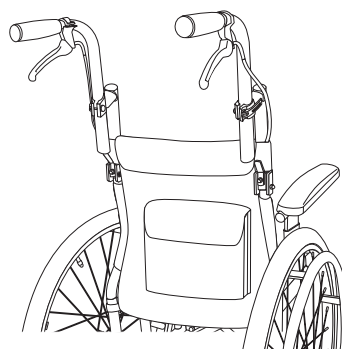
- (1) 着せ替えシートと、メインのバックレストを外します。
- (2) ①のネジをドライバーで固定し、
②のナットを外します。
- (3) ③のネジを外し、介助用ブレーキレバーを外します。
- (4) ①のネジを外し、背折れ金具より上のグリップを取り外します。



- (5) 高さ調整グリップを取り付け、(4)で外した①
(ねじが内側)と(4)で外した ②(袋ナットが外側)を取り付けます。



- (6) (3)で外した介助用ブレーキレバーとバックレストを取り付け、高さ調整グリップの取り付けは完成です。(調整方法はP25をご覧ください)



高さ調整方法

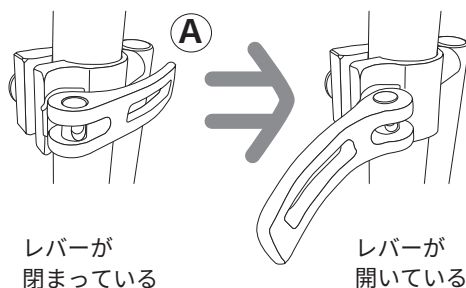
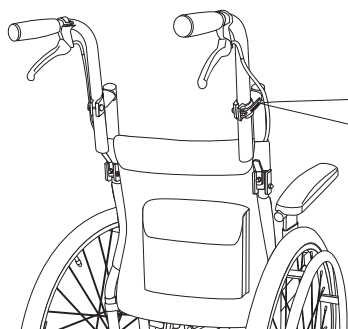


注意

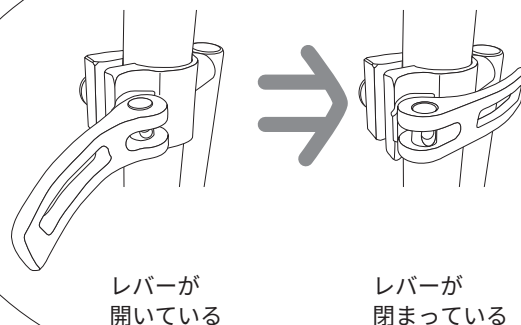
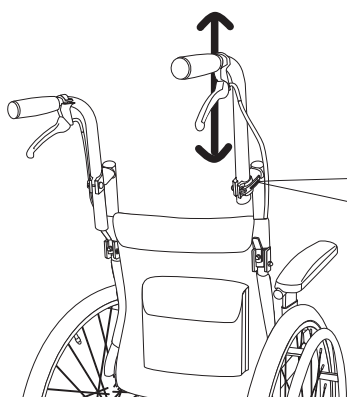
グリップの固定は絶対に確認して下さい。グリップが固定できていない場合、意図せぬ時にグリップが外れ、搭乗者が本製品から転倒する恐れがあります。

また、左右のグリップの高さは必ず同じ高さにしてください。グリップの高さが違う場合、車いすを正常に操作できない恐れがあります。また、車いすがねじれ、壊れる危険があります。

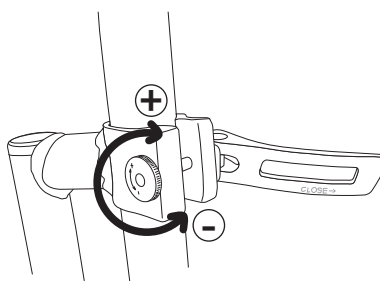
- (1) ①のレバーを開きます。
レバーを回す必要はありません。



- (2) 高さを合わせ、①のレバーを閉めます。
左右のグリップの高さは必ず同じ高さにしてください。



- (3) グリップの固定がゆるい場合の調整方法
レバーを開き、内側のダイヤルを時計回りに回してください。
レバーの閉めつけが強くなります。
強すぎる場合は、反時計回りに回すと締め付けが弱くなります。



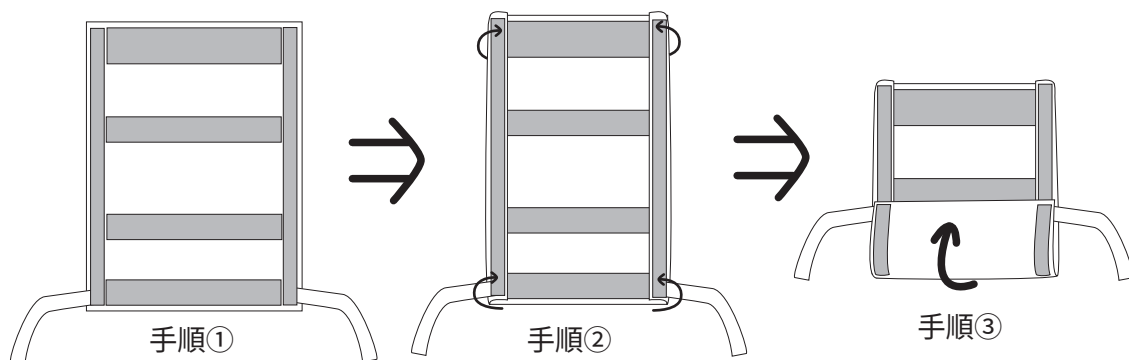
8-3. 追加着せ替えシート

(1) 着せ替えシートを車いすの幅に合わせて調整。

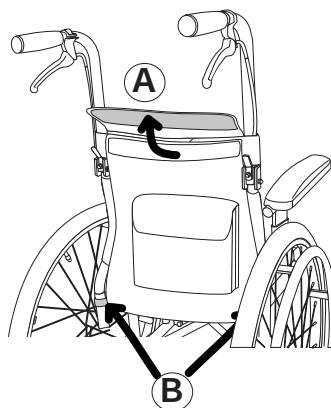
①着せ替えシートを裏向けます。(ポケットのない方が裏)

②車いすの幅に合わせて、左右のシートを折り返します。

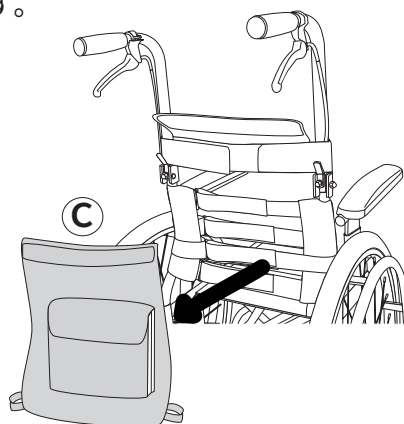
③車いすのバックレスト(背高さ)にあわせ、下から上に折り返します。



(2) ①Aのシートを外し、②Bの左右のベルトを外します。



③Cの着せ替えシートを外します。



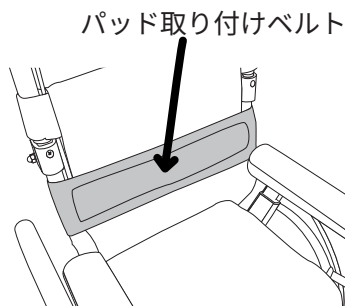
(3) ③Cの着せ替えシートと、追加の着せ替えシートを差し替え、(1)の逆の手順でシートを取り付けます。

8-4. 体幹パッド

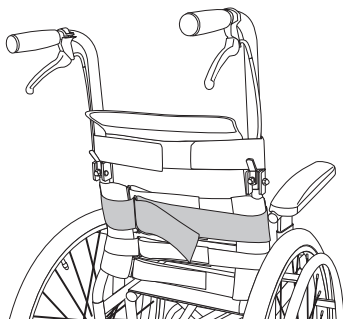
体幹を支えるパッドです。

(1) 体幹パッド固定ベルトの取り付け

- ① P 2 6 の(2)を参照し、着せ替えシートを外してください
- ② パッド取り付けベルトをバックレストパイプに巻きつけます。

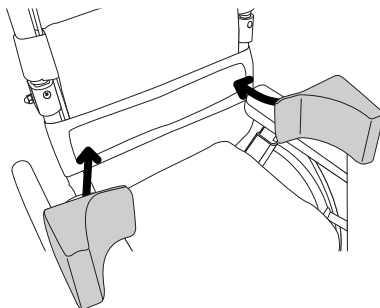


- ③ バックレストの後ろで折り返してベルトを固定します。

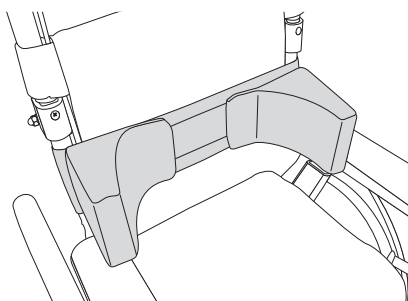


- ④ 着せ替えシートを取り付けます。

(2) パッド取り付けベルトに体幹パッドを固定します。



(3) 装着完了

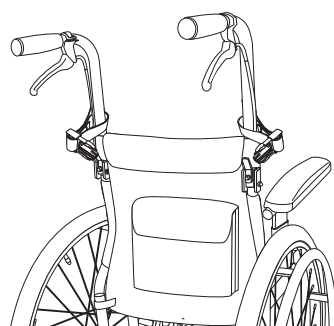
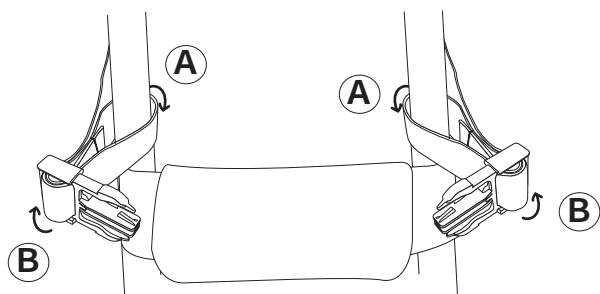


8-5. テゾリュック (リュックサック)

耐荷重 車いす装着時・・・4kg、 リュックサックとして使用時・・・10kg

(1) テゾリュック取り付けベルトの取り付け

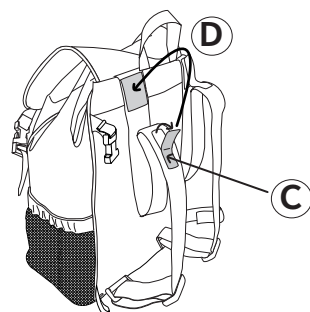
- ① テゾリュック取り付けベルトについているベルトを外から **(A)** のように内に回します。
- ② **(B)** のようにバックルに通し、ベルトを固定します。
- ③ 同様に、反対の背パイプにも取り付けます。



取り付けベルト装着後

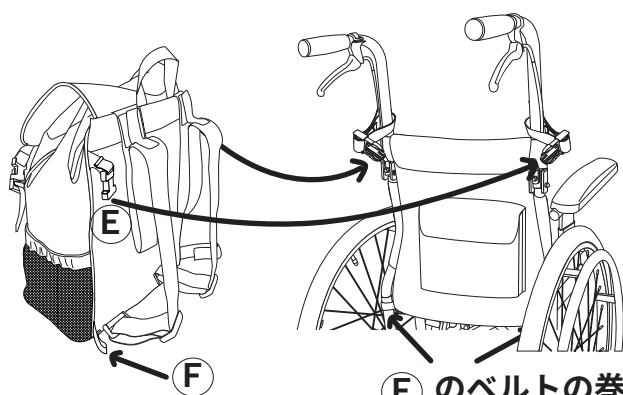
(2) テゾリュックの肩ベルトの収納

- ① 肩ベルトについている **(C)** のベルトをはがします。
- ② ①で外したベルトを **(D)** の位置にマジック止めし、肩ベルトを収納します。

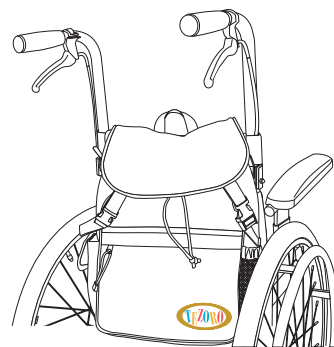


(2) 「テゾリュック取り付けベルト」とテゾリュックの連結

- ① 上記で取り付けした「テゾリュック取り付けベルト」にテゾリュック側の **(E)** のバックルを取り付け、テゾリュックと本体を連結します。
- ② 同様に反対側「テゾリュック取り付けベルト」とテゾリュックを連結します。
- ③ **(F)** のベルトをバックレストパイプに巻きつけ、テゾリュックを固定します。
- ③ 同様に、反対のベルトもバックレストパイプに固定します。



(F) のベルトの巻きつけ位置



取り付け完了

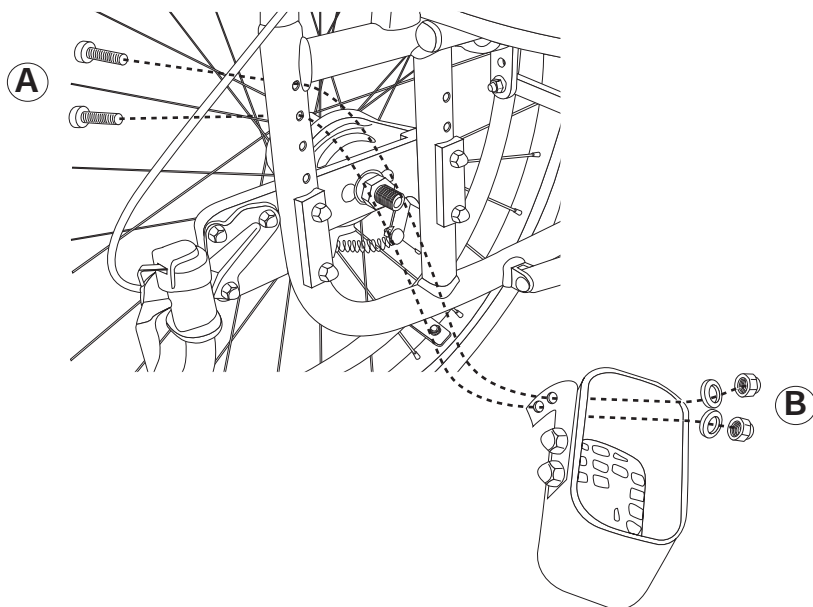


注意

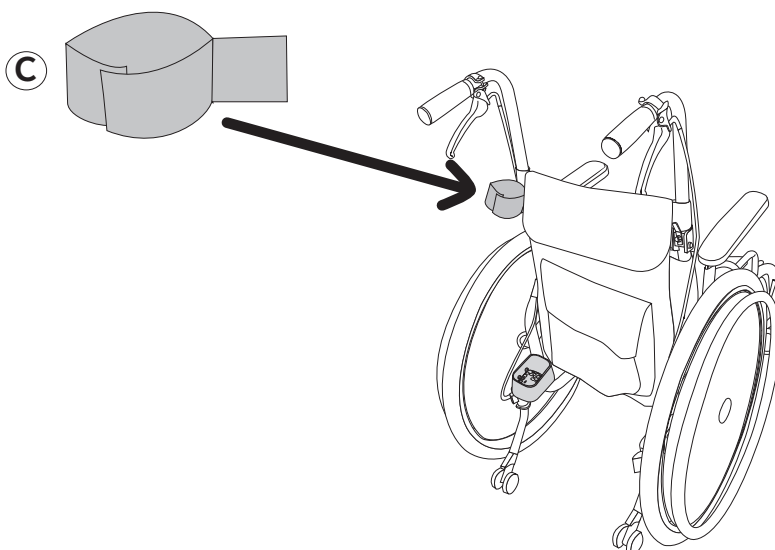
テゾリュックの固定は絶対に確認して下さい。テゾリュックが固定できていない場合、意図せぬ時にテゾリュックが外れ、搭乗者が本製品からの転倒する恐れがあります。テゾリュックに4kg以上の荷物を入れ、車いすに装着しないで下さい。後方転倒し、搭乗者が怪我をする恐れがあります。

8-6. 杖入れ

(1) 下図のように、**(A)**のネジと **(B)** のナットで、杖入れを取り付けます。



(2) **(C)** のベルトを、着せ替えシートと、背シートの間にはさみ込み、マジック止めします。

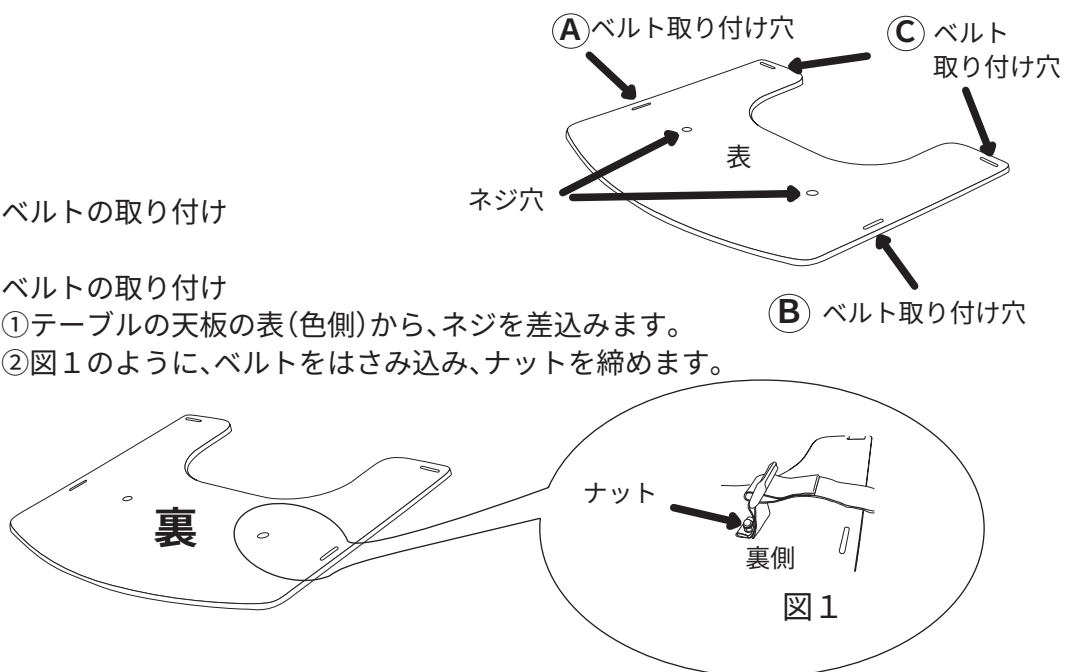


8-7. テーブル

(1) ベルトの取り付け

Ⓐ ベルトの取り付け

- ① テーブルの天板の表(色側)から、ネジを差込みます。
- ② 図1のように、ベルトをはさみ込み、ナットを締めます。



- ③ 図2のようにベルトをスリットに通します。

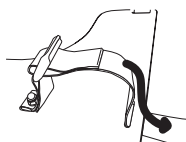


図2

- ④ 図3のように、ベルトを折り返し、プラスチックバックルに通します。

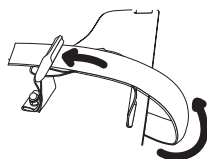


図3

- ⑤ 図4のように、ベルトを折り返し、再びバックルに通します。

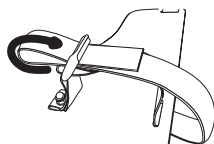


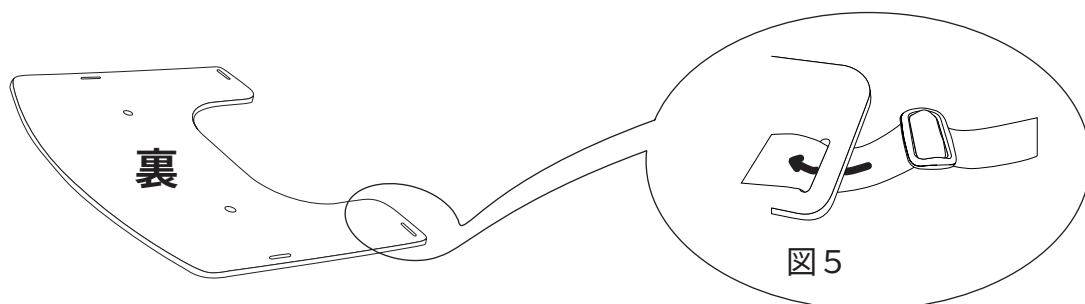
図4

- ⑥ 同様に反対側の Ⓑ ベルトを取り付けます。

次ページへ続く →

③ ベルトの取り付け

- ① テーブルの天板の表(色側)を上におきます。
- ② 図5のように、ベルトを裏から通します。



- ③ 図6のようにベルトを折り返し、バックルに通します。

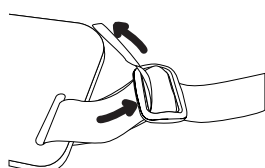


図6

- ④ 図7のように、ベルトをバックルに通して固定します。

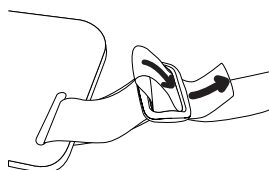
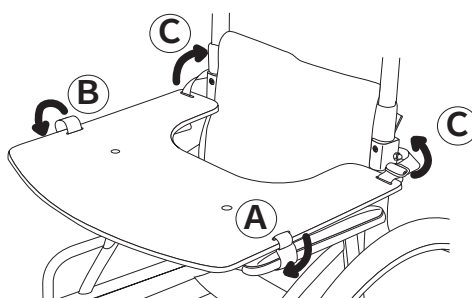


図7

- ⑤ 同様に、反対側のベルトも固定します。

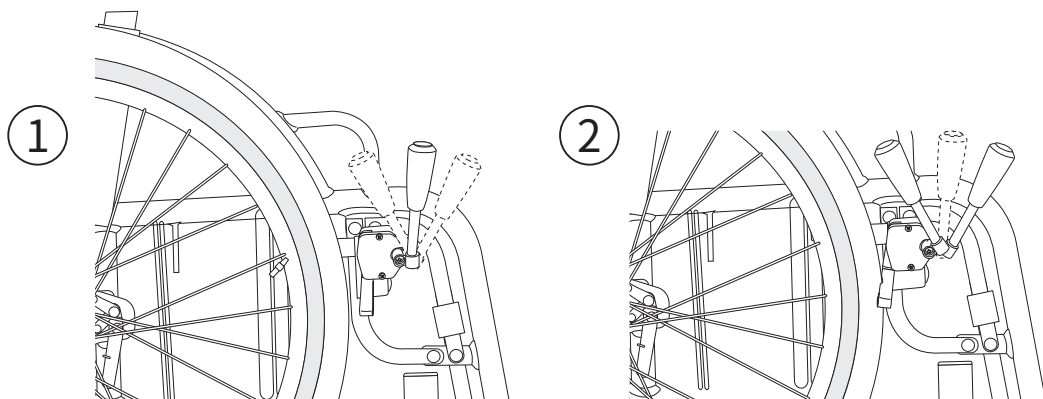
(2) テーブルの固定

- ① ② ③ のベルトで肘パッドとテーブルを固定します。
- ④ ⑤ のベルトを車いすの後にまわし、後でプラスチックバックルを止め、ベルトの長さを調整します。



9 安全な使い方

9-1. 駐車ブレーキの使い方



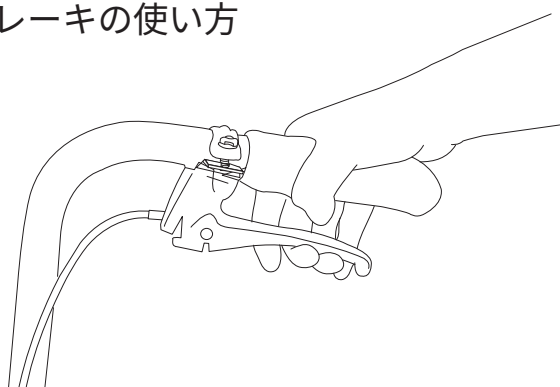
- ① の状態ではブレーキがかかっていません。
- ② の状態ではブレーキがかかっています。



警告

移動している時以外は必ず駐車ブレーキをかけて下さい。
意図せぬ時に動き出し、事故等を起こす恐れがあります。

9-2. 介助用ブレーキの使い方



介助用ブレーキは、ブレーキレバーを握っている時だけブレーキがかかり、
ブレーキレバーを握っていない状態では、ブレーキはかかりません。
(自転車のブレーキと同じ要領で、介助者がブレーキをかけて下さい)



警告

緊急の時以外は、搭乗者が前のめりになるような急ブレーキはかけないで下さい。
搭乗者が車いすから落ちて死亡又は重傷を負う恐れがあります

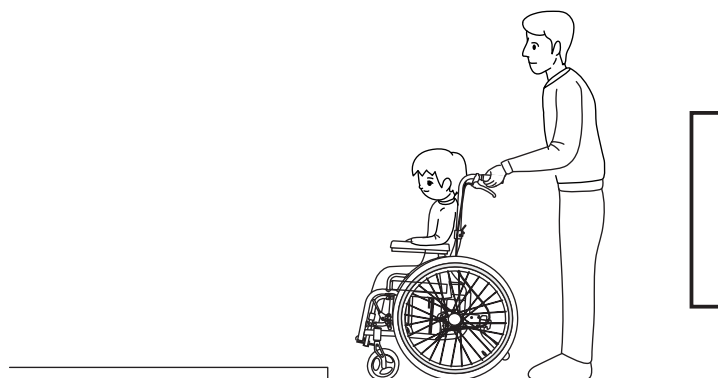
9-3. 段差での走行方法



注意

段差乗り越えの操作は、子供用グリップを使用しないで下さい。着脱機構の為、意図せぬ時に子供用グリップが外れ、搭乗者が本製品から転倒・怪我をする恐れがあります。

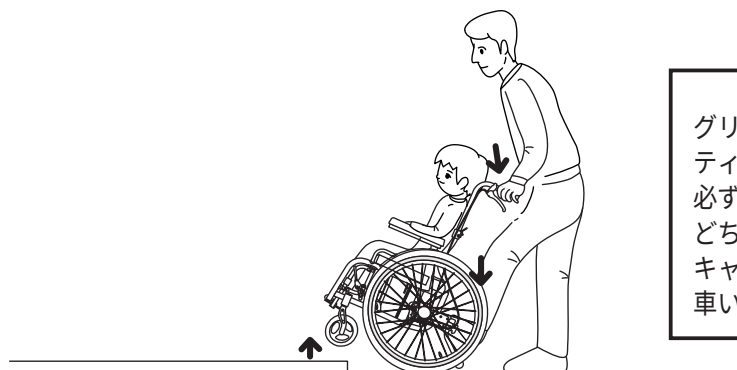
- (1) キャスタが段差の直前になるような位置で停車します。



注意

フットレストや足を段差にぶつけないようにして下さい。けがをしたりフットレストが破損する恐れがあります。

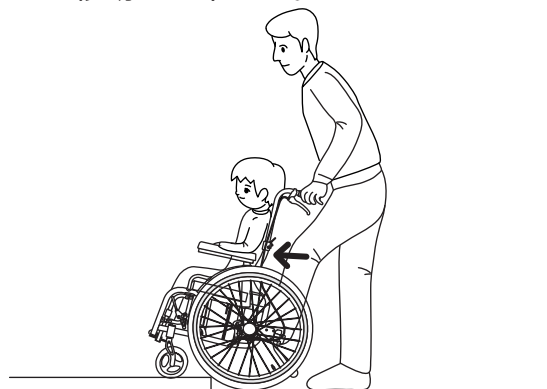
- (2) グリップを真上から押しながら同時にティッピングレバーの左右どちらかを足でふんでキャスタを持ち上げて下さい。



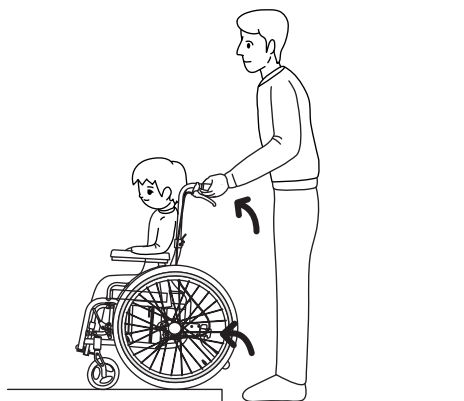
注意

グリップを真上から押す動作とティッピングレバーをふむ動作は必ず同時に行って下さい。どちらか一方のみの動作の場合、キャスタが持ち上がらなかったり車いすが破損する恐れがあります。

- (3) キャスタを持ち上げながら駆動輪だけで段差の所まで移動して下さい。

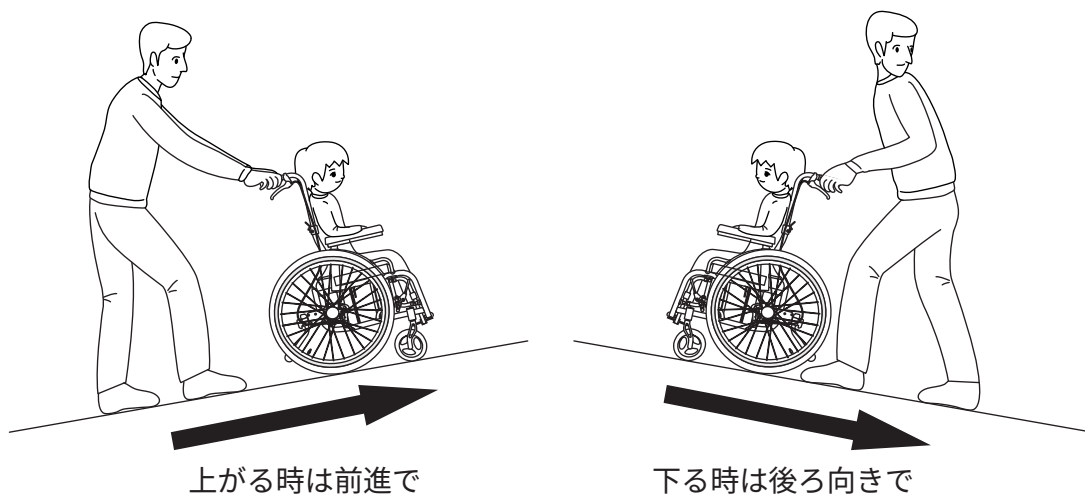


- (4) グリップを持って車いすを持ち上げ段差を乗り越えて下さい。



9-4. 坂道での押し方

坂道では前進で上がり、後ろ向きで下るのが基本です。

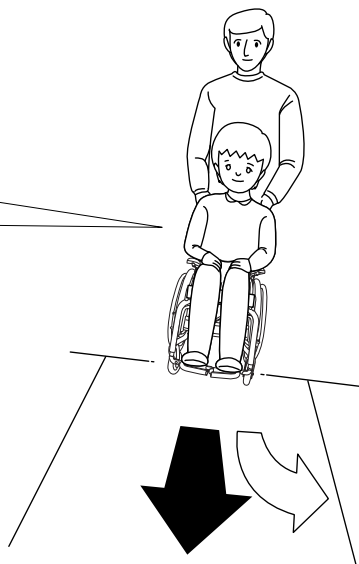
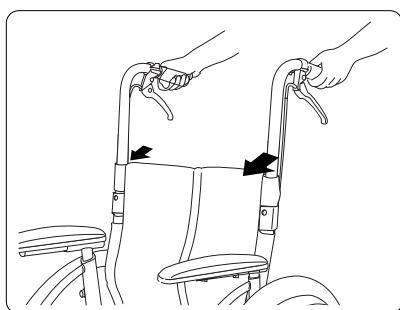


警告

坂道を前進で下ると搭乗者が前方へ転倒したり、前方へズレたりして大変危険です。

9-5. 傾むいた道での押し方

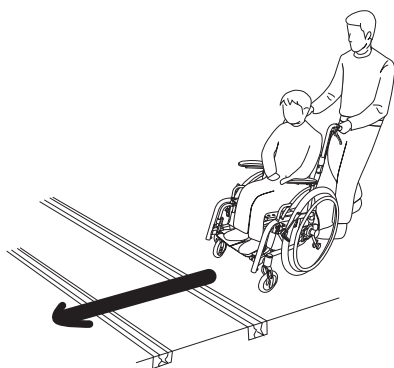
傾いている側の手に力を入れて、車いすが道の低い所へ曲がらないようにして下さい。普通の押しかたでは低い方に曲がってしまいます。



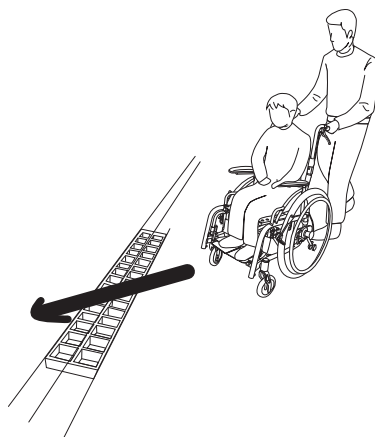
9-6. 溝越え

キャストや駆動輪の幅や直径よりも広い溝や踏み切り等を通過する時は、溝に対してできるだけ直角になる角度で進入してください。(図1)
直角でない場合、キャストや駆動輪が溝から抜けなくなる恐れがあります。「9-3 段差段差での走行方法」のようにして、溝の手前でキャストを持ち上げてから通過するのも一つの方法です。
※グレーチング(側溝を埋める金網)を通過する場合は、図2の様な角度で進入してください。

(図1)
溝、踏み切りの場合の場合



(図2)
グレーチングの場合



警告

交差点内や踏み切りでは、特に注意してください。交差点や踏み切内で立ち往生すると非常に危険です。

下記の部分を1日に1回ご使用前に必ず点検して下さい。
また、点検していない車いすはご使用にならないで下さい。



警告

点検の結果異常を発見された場合はそのまま使用せず、販売店に修理交換を申し出て下さい。

1. 介助用ブレーキ

適正な遊び量とききしろを点検して下さい。（ききしろ：約3cm、遊び：約3cm）

2. 駐車ブレーキ

駆動輪の空気圧が適正な場合、駆動輪がややへこんでいる位が適正な効き具合の目安です。ききがゆるい場合はそのまま使用せず、販売店に申し出て下さい。

3. 駆動輪およびキャスト

- (1) 駆動輪に空気は入っているか。（適正空気圧：4.5 kgf/cm² 450KPa）
- (2) 駆動輪がパンクしてないか。
- (3) 駆動輪やキャストに異物がささっていないか。
- (4) 駆動輪やキャストの溝はあるか。
- (5) 駆動輪に大きなひずみや損傷はないか。
- (6) 駆動輪の空気バルブがゆるんでいないか。
- (7) 大きなガタツキがなくスムーズに回転するか。

4. フットレスト

- (1) ねじがゆるんでないか。
- (2) フットレストを上にはね上げた際、はね上げた状態を保つことができず、すぐに下がってこないか。
- (3) 汚れた場合はぞうきん等でふいて下さい。

5. バックレスト・シート・レッグレスト・着せ替えシート・テゾリュック（リュックサック）

- (1) 汚れた場合は、車いすから取り外します。
- (2) やわらかいスポンジやタオルを使用し、中性洗剤で汚れた所だけを部分洗いして下さい。（洗濯機は使用しないで下さい。）

6. アームレスト・泥除け・塗装面

- (1) ぬれたタオルを固くしぼって中性洗剤を用いてふいて下さい。

7. テーブル

- (1) ぬれたタオルを固くしぼって中性洗剤を用いてふいて下さい。
シンナーなどの溶剤を使用しないで下さい。
水洗いはしないで下さい。

11 保管方法

水分や直射日光をさけ、日陰で保管してください。

12 廃棄方法

- 各自治体の指示に従い、廃棄処分して下さい。

本体フレーム：強化アルミ合金

シート：ナイロン

13 仕様諸元

全長	18インチ・・・724mm / 20インチ・・・748mm / 22インチ・・・770mm
全幅	510mm (シート幅 260mm)
全高	900mm (前座370mm、タイヤ18インチ、バックレスト高360mm)
折りたたみ幅	380mm
シート幅	260～360mm (20mmビッチ)
シート奥行	260～340mm (20mmビッチ)
バックレスト高	320～400mm (20mmビッチ) / 450mm / 460mm
バックレスト角度	90°
フットレスト長	ハイマウント・・・150～280mm / ローマウント・・・310～370 (20mmビッチ)
車軸前後位置	-15mm / 0mm / 15mm
前座高	370～450mm (10mmビッチ)
後座高	前座高－20mm
キャンバー角	2°
タイヤサイズ	18インチ / 20インチ / 22インチ
キャスターサイズ	4インチ / 5インチ
ハンドリム取付間隔	25mm
重量	約13.5kg (シート幅280、シート奥行280、タイヤ18インチ)

メ

保証規定

I. 保証の範囲

1. 保証期間中に品質の不完全に基づく故障が生じた場合はこの保証書により無料で修理いたします。
2. 保証期間はお買い上げ後1年間です。
3. 但し、次の場合は保証期間中でも有料になります。
 - (a) 取扱い過誤による故障。
 - (b) 製品に改造を加えた場合の故障。
 - (c) 天災、地変等による故障ならびに損傷。
 - (d) タイヤの磨耗・パンク、シートの破損、その他消耗部品および各部の劣化による故障・損傷
 - (e) 保証書にお買い上げ店名の記載、捺印のない場合。
 - (f) 保証書のご提示がない場合。
4. 以上の保証は本製品を日本国内に設置した場合に限ります。
5. この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

II. サービスのご用命

保証期間中、万一故障が生じた場合は、お買い上げの販売店へ保証書を添えてお申し出ください。

III. ご注意

保証書の再発行はいたしませんので大切に保管してください。

品質保証書

本商品については上面記載の「保証規定」により正常な使用状態において故障が生じた場合に限りお買い上げ日より「1年間」無償で修理いたします。

機種名		テゾーロ		シリアルNo.	
お客様	ご住所	〒			
	(フリガナ) ご氏名	TEL			
お買い上げ日		平成	年	月	日
		保証期間		購入日より1年	
販売店名					
住所					



川村義肢株式会社

〒574-0064 大阪府大東市御領1丁目12番1号

TEL 072-875-8020(代) FAX 072-875-8041

製造元 :  川村義肢株式会社

販売元

パシフィックサプライ株式会社

本社営業部 〒574-0064 大阪府大東市御領1-12-1
TEL 072 (875) 8011 FAX 072 (875) 8015

札幌営業所 〒003-0023 札幌市白石区南郷通り14-北2-33 パブリックシャイン1F
TEL 011 (862) 1136 FAX 011 (862) 1002

仙台営業所 〒980-0871 仙台市青葉区八幡1-4-22 裳栄ハイツ1F
TEL 022 (224) 3261 FAX 022 (264) 6935

東京営業所 〒160-0022 東京都新宿区新宿2-3-12 グレイスビル2F
TEL 03 (3352) 0757 FAX 03 (3355) 3154

名古屋営業所 〒486-0946 愛知県春日井市勝川町西3-5
TEL 0568 (34) 2696 FAX 0568 (34) 2697

広島営業所 〒733-0035 広島市西区南観音6-5-11 ロイヤルシャトー 中田1F
TEL 082 (293) 6255 FAX 082 (293) 6299

福岡営業所 〒812-0054 福岡市東区馬出2-2-12
TEL 092 (641) 8151 FAX 092 (641) 0444

<http://www.p-supply.co.jp/>

取扱店